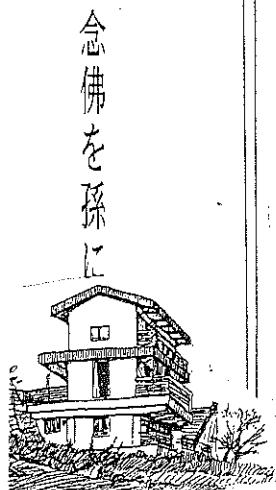


勝林寺報



とからやけど、僕、おばあちゃんのいつ
とる天国へ行つてあげるからネ」
こんな可愛いことを言います。

「そうか、頼むわナ。そやけどおばあ
ちゃん行くところ天国と違うんで。お淨
土ちゅうどこやで、間違わんと来てや」

と叫うたものの、ほんとにこの子、如來
さまの子にしてもらえるやろか、私と一
緒のお淨土まいりさせてもらえるやろか。

ひょっとしたことがきっかけで、ここ
七・八年にもなりましょか、このテレビ
ホン法話も欠かさず聞かせていただいて
いる内に、わたしのこの命、まるごとお
おきなおおきな如来様のいのちのなかに
まるめとられ生かされて、生き死に心配
ない身にしていただいていたことに気づ
かせていただき、毎日が本当に嬉しく、
死に行く先までが楽しみな日々をおくっ
ております。

六十を越えて七十近くなってはじめて、
こんなご縁から「生きがい」というもの
をもたせていただいたことを、勿体なく
不思議にさえ思うのでござります。
それにつけましても、一つ今、気にな
る事がございます。

それは孫のことですぞあります。
一緒に暮らしている若夫婦には、一人
しか子供はありません。

この一人の孫が、可愛いのなんのと言つ
て、この男の子と一緒にいることが、わ
たしのまた一つの「生きがい」でもあり
ます。

一年生になつたばかりで、まだ口もよ
うまめらん（滑らかに言えない）この子
が言うのです。
「おばあちゃんが死んだら、孫が上手に
焼いたげるナ、それからまた、つとあ

いつかの「法話に」「どんなにこの子を
いとおし不憫とおもつても、そんな慈悲
は未通らぬ。自分が先ず念佛を申し、急
いでお淨土まいりをして、それから如來
様といつしょにこの子を南無阿弥陀佛と
よびつづけるよりほかないので」と聞
かせてもらつてはいるものの、やっぱり
このことが心配で心配で。

お念佛の声を世界に子や孫に
といいますが、ほんと、どうしたらよい
のでしょうか。

(編集から：いまさきお互いに深刻
な問題です。どうすればよいのでしょうか)

子供の教育にはあさんがでしゃばると
嫌がられます。
遠慮しい朝にはお仏壇の前に座ら
せるようにはしていますが、やはり心配
です。

境内地排水溝工事に 仏社有志奉仕作業

白蟻被害などの原因として指摘注意さ
れていた境内地の排水設備の工事が五月

五日（出石屋）施工で行われました。
早朝よりまる一日、かなりな重労働に
の仏社会員の方々がご奉仕くださいま
す。

衷心感謝申し上げます。

田巖さま 関森松一さま
鳴千秋さま 中山重雄さま
中島武志さま 鶴井孝さま
平野稔さま



六月のこどもみ
一 日 全国組長研修会
二 日 同じ
四 日 山下石口組組合会
五 日 沢田寿造氏宅法事
植田まさえ様忌明

水上西組戦争50年追悼法要
中央基幹運動推進委員会総会
同じ
八 日 永井かめの氏宅建墓式
全国組長研修会
九 日 同じ
十 日 玉田会定例法座
本覚寺永代経
兼井通夫氏宅法事
出石組仏婦連明田妙
△△・追悼会
森井実氏宅法事
植田家納骨法要
得度習礼

中央実習（→一七日）
十六夜会定例法座
全国組長研修会
同じ
一 日 研修旅行
滋賀教区寺族婦人研修会
同じ
二 日 研修旅行
滋賀教区講師団研修会
同じ
三 日 研修旅行
福成寺永代経
同じ
四 日 研修旅行
中央相談員連絡会
同じ
五 日 全国組長研修会
同じ
六 日 第3連区門徒推進員連絡協議会
准备会
宮崎哲也氏宅法事
みのりを聞く会定例法座
同じ
七 日 中央相談員研修会
龍谷大学一八同窓会
二八日 同じ
三〇日 龍谷大学一八同窓会

慈悲の 福音の 行きどまり

五月一日	高町
五月二日	植田 さやかの様
五月三日	葬儀儀式
五月四日	植田 さやかの様
五月五日	植田 さやかの様
五月六日	植田 さやかの様
五月七日	植田 さやかの様
五月八日	植田 さやかの様
五月九日	植田 さやかの様
五月十日	植田 さやかの様
五月十一日	植田 さやかの様
五月十二日	植田 さやかの様
五月十三日	植田 さやかの様
五月十四日	植田 さやかの様
五月十五日	植田 さやかの様
五月十六日	植田 さやかの様
五月十七日	植田 さやかの様
五月十八日	植田 さやかの様
五月十九日	植田 さやかの様
五月二十日	植田 さやかの様
五月二十一日	植田 さやかの様
五月二十二日	植田 さやかの様
五月二十三日	植田 さやかの様
五月二十五日	植田 さやかの様
五月二十六日	植田 さやかの様
五月二十七日	植田 さやかの様
五月二十八日	植田 さやかの様
五月二十九日	植田 さやかの様
五月三十日	植田 さやかの様

研修（納骨）旅行



正

発

今年はことに物故者が多
かった。

二〇名である。

例年「出石組念佛奉仕団」

(九月一六・七日実施)の
とき納骨していたが、その
期日が遅いことと、納骨時
間がゆっくり取れること
もあって今年は勝林寺単独
の研修旅行のなかで納骨式
をすることになった。

(出石組念佛奉仕団の際
に納骨されてもよい)

旅行は6月一九日

(日)朝6時出石発、一〇
時ごろ大谷本廟出納骨式。
関D-Iをへて湯の山温泉に
一泊。二〇日は御在所見
望・鈴鹿スカイライン・近
江八幡水郷めぐりなどをし
て19時半出石町に帰着予
定。

会費は一人一一万円(当日納入)

★納骨式だけに参加の方は

十九日十時に

大谷本廟受付ロビーで

待つていてください。

(納骨冥加金5千円)
(大谷本廟は京都市・東山五条)

お見舞いのことば

妻が足掛け七年、例の癌という病で、
病院を出たり入ったり。

その間、本人はもちろん、看病の家族
は、その度に一喜一憂、あの癌というし
ぶとい病気に翻弄されていたように思
います。

だんだん病が進むにつれて、本人はど
うやら覚悟もできたようで、最後の一年
だから何を言わても、そのまま素直
に受け取つて動搖もなくなった様子でし
たが、付き添いの家族はそうはいきませ
ん。

ちょっとしたことも神経をいらだた
せ、グラグラとなつたりしたもので
す。

今から思い返すことであります。
そんな病人をお見舞いするときのことば
で、難しいことなど、つくづく思いま
す。

たいがいの方はおっしゃいます。
「大丈夫ヨ。がんばりましょうね」
「元気だしてネ」。

そういう励まされたときの病人の、なんと
もいえない寂しそうな顔を思いだします。

頑張るだけ頑張つて、元気出すだけ出
し尽くして、今はもう、静かに休んでい
たい者のからだを、無理やり搔きぶり立
てて、「大丈夫ヨ」とは「頑張りましょ
うネ」とは、他人事のそらぞらしい言葉、
いえ、むしろ残酷なことばであったとき
え思いました。

それとは反対に、あわれが本当のお見舞
いではなかつたかと思い出すことがあります。

南無阿弥陀仏
孫たちに
せがされる

姫路東組

寺尾

三代子

奥さんのその手には水晶の腕輪のお数
珠がかけられていました。
それが夕日のなかでキラキラしてい
たと、妻のうれしそうな顔とが、七年たつ
たいまもありありと思い出せます。

人を見舞うときの言葉って、むずかし
いものだなとつくづく考えさせてい
ます。

出石組念佛連盟総会
会員物故者追悼法要
とき 六月十二日(日)午前九時より
ところ 出石町寺町 正福寺
講演 貴賀昌信 修行先生

まさ如蓮

五百回忌大遠忌(だいおんき)法要が勤
まります。

蓮如上人

お念佛の教えが、長い戦乱動乱の歴史
のなかにも、脈々と、間違なく伝えられ、今も私たちの命のより所として働き
つづけているのは、ことにこの蓮如上人のご苦労のたまものです。



蓮如上人のご一生は、苛酷な労働のな
かに生きる人や、忍徳のなかでくらす女
人(によにん)と共に、念佛をよろ
こぶことでした。

そのご生涯を、本願寺から出版されて
いる絵本『蓮如さま』によつて伺つて
こうと思います。

「勝林寺寺報」の紙面の都合で、これ
だけは別刷りにして、この号から何回か
に分けて、「寺報」とともにお配りしよ
うと思います。

もともと絵本ですから子供や孫たちと
一緒に読んで下さい。

私自身、あの奥さんのようなことが言
えるかどうか。そしてまたあのことばを
聞いて妻のようによるこべるだろうか。
あつお見舞いのことばのなかでの二人
の出会いを、夫である私が羨ましくさせ
思うのはなぜなのでしょうか。